

# 研究実施のお知らせ

2018年2月16日 ver.1.0

2020年12月16日 ver.2.0

## 研究課題名

ANCA 関連血管炎の年齢層別臨床的検討

## 研究の対象となる方

2008年1月から2017年12月の間に島根大学医学部附属病院でANCA 関連血管炎と診断され、寛解導入治療を受けられた方  
転院して来られた方も含みます。

## 研究の目的・意義

ANCA 関連血管炎 (ANCA-associated vasculitis; AAV) は全ての年齢に発症しますが、40歳代から高齢者に好発する疾患です。近年の高齢化、疾患の認知度の普及によって発生頻度が増加する傾向にあり、しばしば後期高齢者の患者もいらっしゃいます。本研究では、比較的若年発症の患者 (15歳～59歳)、前期高齢発症の患者 (60～74歳)、後期高齢発症 (75歳～) の患者の特徴を比較することが目的です。

ANCA 関連血管炎の治療には強力な免疫抑制治療を必要とするため、高齢者では、しばしば感染症を併発し、死因として疾患自体が原因となる場合もありますが、感染症も問題となります。日本社会の高齢化に伴い、高齢者の治療は特に問題となってくると考えられ、年齢別による実態の把握は今後の治療の基礎となると考えられます。

## 研究の方法

研究対象者のカルテから次のデータを収集します。

性別、発症年齢、AAV の分類 (多発血管炎性肉芽腫症 GPA, 顕微鏡的多発血管炎 MPA, 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 EGPA, 分類不能 AAV), 初発症状～治療開始前の症状、治療内容、寛解率、診断/治療開始後2年間の AAV による臨床症状 (再燃), 炎症反応、ANCA 抗体値、治療有害事象 (癌、感染、血栓症、認知症) 死亡 (生存)

収集データは匿名化し取り扱います。研究対象者の識別は研究用に付与する識別番号によって行い、研究対象者との対応表は収集データとは別に保管します。

研究結果公表の際にも、個人の特定につながる可能性のある情報は一切使いません。

## 研究の期間

2018年3月研究許可日～2023年3月

## 研究組織

この研究は島根大学医学部内科学学講座 内科学第三 膠原病内科が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学附属病院膠原病内科／難病総合治療センター 村川洋子

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2018年6月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

\*現在、利用停止の期限を過ぎて解析中のため削除不可となりました。ご了承ください。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：島根大学附属病院膠原病内科／難病総合治療センター 村川洋子

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話/FAX 0853-20-2196